

令和元年 11 月 14 日

## 下野市教育委員による幼稚園訪問の際の感想

池澤教育長 大変貴重な経験をさせて頂きました。マクドナルドのポテトをすくう道具には驚いた。このリアリティさには、考え抜いた末のものなのだろうと想像がつく。考えあうこと、共に作ることの楽しさが感じられ、経験を具現化する力は育まれているのだと思います。基本的な社会性、お金のことなどはこうしてつくられるのだろうと思います。それを実践している愛泉幼稚園の保育は素晴らしいです。実は、卒園式に出席したことがあるが、その時の姿がとても素晴らしかった。小学校の運動会を5月に決定したことのきっかけになったぐらい。今日のような姿を見ると、納得がいく。こうして小学校までに様々なことが育っていくのだと思います。ありがとうございました。

永山教育委員長 とても元気な姿が見ることができました。園内に小さな社会が形成されていて、子ども達が実際に学んでいることが多いと感じました。興味・関心を制作や活動につなげていることはとても素晴らしい。小学生になることが楽しみ。

石嶋教育委員 お母さんといっしょを見ることがあるが、その姿と今日の姿は全然違う。本当に楽しそうだった。おとなしい子がいて、活動に入れていないようだったが、他の子どもが声をかけたりして子ども同士のよい関係性が見られた。縦割り保育の良さを感じる。周りが楽しい雰囲気だから参加していなくても楽しいのだろう。

三橋教育委員 縦割り保育の良いところをみることができました。年長さんが年少さんの売り買いをフォローしてあげている姿が見られました。異年齢のいいところですね。やりたい気持ち(意欲)が伝わってきてとてもよい活動でした。子どもが愛泉幼稚園の卒園だったので、卒園後にはじめて来たけれどずいぶん変わっていて驚きました。

坪山教育次長 子ども達の話合いに活気があった。自主性が感じられた。先生も話し合いの中で子どもの話をよく聞いてあげていた。楽しそうであった。幼小中連携の大切さを感じます。

田澤学校教育課長 やらされているわけではないことがよくわかりました。そして、その環境は素晴らしいと感じました。

近藤教育総務課長 自分たちで行動し、自分たちが中心で行っていることがわかった。小中学校へつながる活動だと思う。じっくりと関われる時間の確保があっていい。小学校ではここまで時間と教材の確保は難しいと思う。

事務局 子ども達の熱い想い、熱気が伝わってきました。本当に楽しいのだろうなと思いました。それにコミュニケーション力が高いと感じました。実際に見て感じたことを形にすることがすごいと思います。子ども達の学びの基礎になっているとおっしゃったことが理解できました。ペアのお友達同士が面倒を見てあげる姿は感動しました。兄弟姉妹が少なくなっている中でそのような経験ができることは素晴らしいと思いました。